ヒノキの林業品種の区分

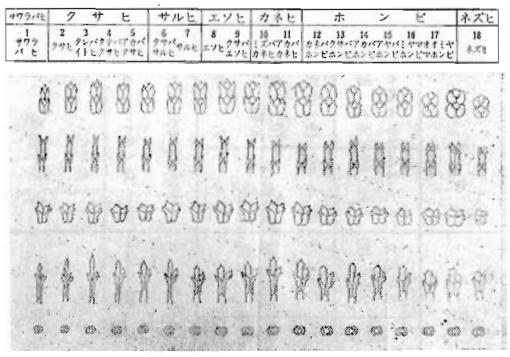
玉川大学農学部　○石　崎　厚　美
林業試験場九州支場　尾　方　信　夫

ヒノキの林業品種の発達がナンゴウヒでとどまっている理由には，さし木が困難で実生造林が主体であることと葉，生長量，樹形，材質などの林業的形質に個体間の差が小さいためとされるが，育種事業でさし木つぎ木クローンが養成されて固定の機会が多くなったことと，材価，材質が見直されて現実的に必要を迫られてきたために，その研究を行なうことを決断させてこの報告となったものである。

ヒノキの品種区分も葉の採取位置によっこ異なった葉形を示すので，まず，標準鱗葉，標準分岐鱗葉，の標準枝葉軸，同軸鱗葉の採取位置を決定して，各葉および軸ごとに分類基準点を設けて，その集約できるグループごとに相応しい名称で呼び名をつけたが，その場合，ことに心をひかれたのはヒノキはサワラとの雑種が天然に実在していることと，アテに林業品種が発達していて，それがヒノキの場合と似ていることであった。

品種の区分は形質の経済的発掘状態によって決らめれるので，当分の間はやや粗なところの方が相応しいと思われるが，全国的に精英樹が選び出されている現状では部分的にさらに目の細かなところも必要とみられたので，九州のスギの品種の類別のあらさぐらいを目標とした。

以上の条件で類別した結果はあら目では7種，細目では18種となった。その種類別形態と特徴を示せばつぎのようにまとめられる。



			クサヒ				サルヒ		エソヒ		カネヒ		ホンヒ				ミヤマホンヒ		
種名		サワラバヒ(1)	クサヒ(2)	タレバイトヒ(3)	タチバクサヒ(4)	アカバクサヒ(5)	クサバサルヒ(6)	サルヒ(7)	エソヒ(8)	クサバエソヒ(9)	ミスバカネヒ(10)	アカバカネヒ(11)	カネバホンヒ(12)	クサバホンヒ(13)	アカバホンヒ(14)	アカバホンヒ(15)	ミヤマホンヒ(16)	オオミヤマホンヒ(17)	ネズヒ(18)
葉	春	淡緑	淡黄緑	1<	3<	4<	2<	緑		8<	濃緑	10より淡	11<	12より淡	12より淡	13<	15<	16<	11同じ
	冬	黄緑	1より黄味強し	2よりやや濃緑	3より黄味強し	赤紅	黄褐	6よりやや暗		淡黄褐	暗紫色	10よりやや明	11より桃	11よりやや黄	明紫紅	橙がかる	赤桃	暗赤桃	17より暗い
	つや	なし	少なし	なし	少なし	ややあり	〃	〃		〃	〃	あり	あり	〃	強し	〃	〃	〃	〃
球果	形	小さい	←やや長く大きい→				←やや長めでやや大きい→		←角ばりやや大→		←やや角ばりやや大きい→		←小形でやや丸味→				←小さく丸味強い→		不明
	結実	やや早い	←やや早くやや多い→				←中で多い→		←不明→		←早く多い→		←ややおそくやや多い→				←おそくて少ない→		
枝	角度	せまい	せまい	←ややせまい→			←やや広い→		やや広い		やや広い		←やや広い→				←広い→		
	曲がり	少ない	〃	←やや曲がる→			←やや曲がる→		少ない		やや曲る		←中度に曲る→				←強く曲る→		
	はばき	小	小	やや大	〃	やや小	やや大	大	やや大		大		やや大	←やや小→			←やや大→		
	太さ	小	小	やや大	〃	やや小	やや大	大	やや大		大		やや大	←やや小→			←やや大→		
	長さ	やや長	短	長	やや長	やや短	やや長	〃	やや短		やや曲る		長	←やや短→			←やや長→		
	揃度	揃	〃	やや不揃	〃	揃	やや不揃	不揃	やや不揃		不揃	やや不揃	長	←揃→			←揃→		やや不揃
樹皮	色	灰褐	←灰褐→				ホンビとクサヒの中間		クサヒよりも黄味つよし		←暗赤褐→		←紫紅→				←暗紫紅→		暗紫紅
	粗さ	サワラに似る	細くたてに裂けスギのシロハダに似る				皮うすくはげ平滑		クサヒよりも黄味強く肌はややあらい		樹皮はうすくはげ平滑		たてに広くさけてはげアミハダ状を呈する				←厚く粗剛→		ネズコに似る
幹形	通直性	通直	〃	不規則	〃	通直	時に弯曲		通直		時に偏平角形		←通直→				←通直→		通直
		正円	〃	不定形	〃	丸味	不規則		丸味		不規則		←丸味→				←丸味→		丸味
	完満度	完満	〃	やや完満	〃	完満	やや梢殺		やや梢殺		やや完満		←やや完満→				←やや梢殺→		やや梢殺
樹冠形	張り	小	〃	←やや小→		←中→	←中→		中		大		←中→				←やや大→		大
	形	円筒形	〃	樹冠巾ややせまし細円筒形			エソヒと同形		樹冠巾中で広楕円形		樹冠巾の大きい広円筒形		←樹冠巾のやや広い代表的なヒノキ形→				←広円錐形→		広円錐形
生長状態		最も早く伸び衰えも早い。	早く成長するがやや成長の衰退が早い				クサアテとマアラの中間		クサアテよりもややおそい		枝条の発達のわりに材の生長がおそい		クサアテについで生長が早い				高海抜高山で耐寒性がある		仝左